

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	留萌市子ども発達支援センター				
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～	令和8年2月20日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児童発達支援52	訪問支援24	(回答者数)	児童発達支援38 訪問支援7
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～	令和8年3月6日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	児童発達支援10	訪問支援9	(回答者数)	児童発達支援10 訪問支援9
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月24日		～	令和8年3月6日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		14	(回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月24日				

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	行政、教育委員会として、関係機関との連携を図りやすい。医療や保健師、子育て支援課（児相関係）、社会福祉課など、情報共有を密にしながら、園や学校に訪問支援することでより効果的にその子に合った支援に繋げていくことが期待できる。	園の担任の先生や学校のコーディネーター、特別支援学級の先生との情報共有は、訪問支援時だけでなく、事前・事後の情報共有も積極的に行っている。訪問日とは別に医療受診前後、また教育相談前後、巡回児童相談前後には特に連絡を密に取り合い、より良い支援に繋げていけるよう連携を図っている。	電話か訪問の際の情報共有だけでなく、zoom会議やメール、チャット機能などのICTも活用して情報共有が図れるように体制を整えていきたい。
2	支援計画や記録等は情報管理システムで管理されており、職員同士で共有されている。児童発達支援においては予約アプリを導入しており、利用者の利便性を高め、また情報提供のツールとして活用できている。	訪問支援後や関係機関との情報共有した際には速やかに記録に残すよう徹底し、保護者や関係機関から質問や問い合わせがあった時にすぐに対応できるように心がけている。予約アプリを積極的に活用し、利用者だけでなく関係機関への通信の配信、またアンケートの実施も行っている。	様式の工夫などで、見やすさ、わかりやすさ、また記録作成の負担感の軽減を図ってきたい。
3	リハビリの専門職（PT・OT・ST）、また経験年数を重ねた保育士が訪問支援を担当しており、より専門的な支援が可能となっている。	療育センターなど、医療機関とも連携し、その子の定期的な発達の評価も行いながら支援している。今年度はお子さんの姿勢や集中力へのアプローチとして、補助具や自助具などの提案や実物の貸出、調整等も行ってきた。	様式の工夫などで、見やすさ、わかりやすさ、また記録作成の負担感の軽減を図ってきたい。園や学校に対して、貸出の教材や玩具、補助具等を整備していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援の件数は増えているが、多機能型の事業所であり、児童発達支援がメインであり、訪問支援においては、支援員の体制、日程の調整には苦労している。	具体的な園や学校の予定（時間割や活動内容等）を知るのが1週間前であることが多いため、日程の調整の難しさがあり、また欠席した際の振替の難しさもある。訪問時に次回の日程を決めるか、または電話連絡で調整することが多いため、調整役の児発管やコーディネーターの先生の負担が大きい。	一部、月毎にスケジュール管理しながら訪問支援しているケースもあり、それと同様に、訪問日・曜日・時間がある程度固定化できれば（○園は、第1, 3週の○曜日の○時間目等）良いが、そのためには訪問先との密な連絡が必要になってくる。現在は電話でのみ日程調整を行っているが、今後は互いの予定表をリアルタイムで閲覧でき、日程の調整までできるシステム・アプリの活用なども検討していきたい。
2	特別支援学級の先生やコーディネーターの先生とは情報共有も充分にできることが多いが、通常学級の先生、支援員の先生との情報共有は課題となっている。	お子さんによっては、通常学級（交流学級）での授業に訪問支援で入らせていただくケースも増えてきており、今年度は放課後の時間を活用することで通常学級の先生ともお話しする時間も持てるように改善してきたが、日程調整の難しさを感じている。	対象のお子さんに関わる全ての先生方に訪問支援の意義や目的などをより知ってもらうために、学期ごとにケース連絡会議を実施し参加してもらったり、適宜、直接聞き取りしたりする等、接点やお話しする時間を増やしていきたい。放課後の時間の活用は今後も継続していきたい。
3			